

西脇市役所地球温暖化対策実行計画(第3期)取組結果

1 西脇市役所地球温暖化対策実行計画(第3期)の概要

- (1) 計画期間
平成24年度から平成28年度 5年間
- (2) 温室効果ガス総排出削減目標
平成28年度までに基準年度(平成22年度)から6.0%削減
- (3) 重点取組
ア 再生可能エネルギー設備の導入
イ 施設・設備の省エネ化の推進
ウ 低公害車・低燃費車の導入
- (4) その他
実施状況の評価のための算定は、平成22年度の排出係数で行います。

2 計画の取組結果

- (1) 平成28年度における温室効果ガス排出量は平成22年度比で10.7%減
 - (2) 最新の排出係数で算定すると、平成28年度における温室効果ガス排出量は10,131.4t-CO₂(平成22年度比で34.7%増加)
- ※ 電気使用の排出係数の上昇が、温室効果ガス増加の原因の一つと考えられます。東日本大震災以降、原子力発電の長期停止に伴う火力発電量の大幅な増加により、電気使用の排出係数は大幅に上昇しました。

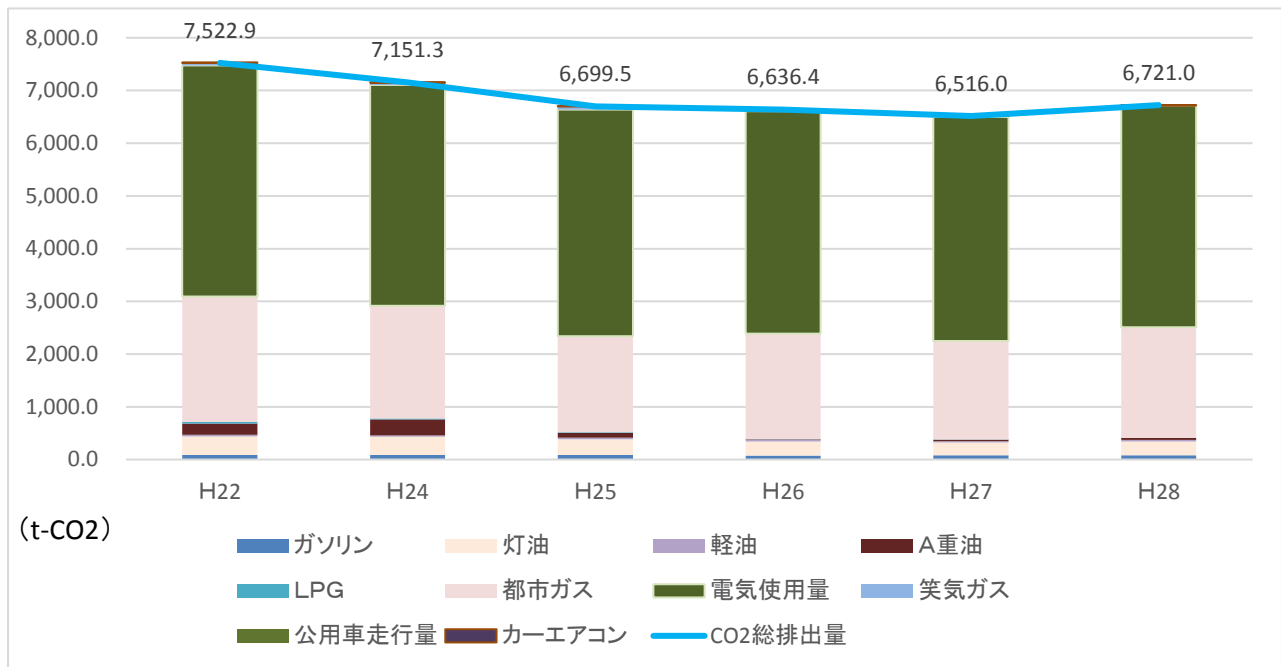
■計画期間の燃料使用量等

項目	単位	H22	H24	H25	H26	H27	H28
		基準年度	実績	実績	実績	実績	実績
ガソリン	kl	36.8	36.6	37.8	33.4	34.0	35.0
灯油	kl	142.3	140.3	120.1	106.8	97.5	104.4
軽油	kl	12.2	8.6	11.1	11.6	11.3	12.1
A重油	kl	79.0	111.5	33.5	4.0	9.2	12.9
LPG	t	8.6	7.1	3.8	0.9	0.6	0.6
都市ガス	千m ³	1,067.6	957.8	817.7	897.5	837.7	942.9
電気使用量	千kWh	15,608.7	14,911.9	15,282.6	15,021.9	15,143.0	14,957.8
笑気ガス	kg	129.2	131.0	190.0	72.0	34.0	4.0
公用車走行量	千km	524.0	490.6	496.8	462.6	470.9	490.5
カーエアコン	台	75.0	78.0	77.0	76.0	80.0	80.0

■計画期間の温室効果ガス排出量推移(単位:t-CO₂)

項目	H22	H24	H25	H26	H27	H28	
	基準年度	実績	実績	実績	実績	実績	目標
ガソリン	85.4	84.9	87.6	77.5	78.9	81.1	80.2
灯油	354.2	349.4	299.1	265.8	242.8	260.0	333.0
軽油	31.4	22.1	28.7	30.0	29.1	31.2	29.6
A重油	214.1	302.2	90.8	10.8	24.9	35.0	201.2
LPG	25.9	21.2	11.4	2.6	1.9	1.8	24.3
都市ガス	2,380.8	2,135.8	1,823.5	2,001.5	1,868.0	2,102.7	2,238.0
電気使用量	4,386.0	4,190.2	4,294.4	4,221.2	4,255.2	4,203.1	4,122.9
笑気ガス	40.1	40.6	58.9	22.3	10.5	1.2	37.6
公用車走行量	4.0	3.8	3.9	3.6	3.6	3.8	3.8
カーエアコン	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9
CO ₂ 総排出量	7,522.9	7,151.3	6,699.5	6,636.4	6,516.0	6,721.0	7,071.5
平成22年度比	—	-4.9%	-10.9%	-11.8%	-13.4%	-10.7%	-6.0%

※ 数値は四捨五入しているため、合わない場合があります。



■計画期間内の温室効果ガス排出量増減の主な理由

項目	理由
灯油	・学校給食センターの統合 (H25)
A重油	・学校給食センターの統合 (都市ガスに変更) (H25)
L P G	・学校給食センターの統合 (都市ガスに変更) (H25)
都市ガス	・マナビータ、生活文化総合センターの空調改修 (H23)
	・都市ガス代高騰に伴い、西脇病院のエネルギーを電気にシフト (H24)
	・第二庁舎の空調回収 (熱源を電気に変更) (H25)
	・みらいえの開館に伴い、使用量が増加 (H27)
電気	・みらいえの開館に伴い、使用量が増加 (H27)

3 重点取組に関する取組結果

別紙参照

4 西脇市役所地球温暖化対策実行計画(第3期)を振り返って

- (1) 温室効果ガス総排出削減目標を上回る、大幅な削減が達成できました。来年度以降は、新たな西脇市役所地球温暖化対策実行計画(第4期)に基づき、引き続き温室効果ガス削減に取り組んでまいります。
- (2) 単年度で見ると、平成27年度までは温室効果ガス排出量が年々減少しています。平成28年度では、温室効果ガスが少し増加しましたが、複合施設みらいえの開館(平成27年10月)に伴うエネルギー使用量の増加、西脇病院のサービス向上に伴う都市ガス使用量の増加が原因であると考えられます。
- (3) 「計画期間内の温室効果ガス排出量増減の主な理由」から、温室効果ガス排出量削減には、ハード面の取組が効果的であるとわかります。